

【日 時】平成26年 2月18日

【訪問先】小田小学校 木村昭雄校長

【概 要】児童数638 学級数21学級 特別支援2学級 教員28名 職員3名

【視察報告】

1、校長先生のモットーや教育目標

『子供の今と未来につなげるハピネスを提供する』
子供に寄り添い、幸せにすることが教員の仕事。

2、英語・国際教育への取り組み

外国籍の児童はいない。つながりやすいオーストラリアの小学校との交流を持ち、同年齢の同士で会話することで英語を学ぶ楽しさ、意欲をあげる取り組みを計画している。ネットや衛星通信の活用などで気軽に交流できる時代になっている。

3、地域のボランティアの協力

AETの他に保護者7名が英語の授業をサポートしてくれている。PTA主催のミニコンサートはかなり本格的。

4、地域との防災の取り組み

学校が地域からの理解のもと地域防災のランドマークとなるのが良い。4年生は防災に関して地域の方と交流する。

小田中と連携して防災に力を入れおり、親の引き取り訓練を行なうなど、実践的で役立つ訓練を実施しようと心がけている。

保護者、教員、小中の代表生徒で防災の対する話し合いを

行っている。小学校4年生から中学校3年生までで『防災』をテーマに小田中学校で会議を開催している。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

学年関係なく防災に取り組むことで、低学年であっても市民として地域に役立つ子供になって欲しい。

6、体力強化やクラブ活動の取り組み

地域の方々、子供たちがそれぞれチームを作り、ソフトボール大会や地域の運動会を実施している。

7、学校組織の強化・人材育成

『人材の材は「財」、人財である。』学校全体を学習する組織にする。教務部に初任や一年目の教員を入れていく。

8、その他

分かる楽しい授業の提供、心の育ちを支援、安心・安全な学校を3本柱においている。また、防災は学力に重要だと考え積極的に取り組んでいる。低学年でも市民として役立つ子供になって欲しいと考えている。

【所 感】

様々な活動の中で特に防災、子供への防災教育に力を入れ、しっかりと実践的な対策をしているように感じた。国際交流や英語教育に関しても熱心に取り組む、新しい試みを積極的に行なおうとしていた。そして、校長先生の情熱をもった人柄が幅広い活動に表われているように感じた。



国際教室の先生方の写真・紹介

